

6. 眼鏡調査票

平成19年度（19年4月1日～20年3月31日）の期間におこなわれた、御社からの補装具出荷取引について、下記の表にご記入下さい。（記入方法については別紙をご参照ください。）当該製品のカタログを添付してください。

6-1 補装具用具眼鏡の製造について

(1) 種別 番号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販売店への販 売単価(円)	(5) 対象期間における出荷 数量(個)	(6) 基本構造以外の 構造	(7) 製造原価 (単価)(円)

6-2 補装具用具眼鏡の輸入について

(1) 種 別 番 号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販売 店へ の販 売単 価 (円)	(5) 対象 期間に おける 出荷 数量 (個)	(6) 基本 構造 以外 の構 造	(8) 輸入原価			(9) 外国における 実売価格				
						仕入 れ値 (円)	輸入 コス ト (円)	輸送費用負担 等契約種別 p) FOB q) CIF r) その他 a~c のいずれ か1つをご記入 下さい。	米 (米 ドル)	英 (ポ ンド)	仏 (ユ ーロ)	独 (ユ ーロ)	

6-3 利用者向け販売について

※対象期間に、利用者向けに補装具用具眼鏡を販売された場合は、こちらにご記入下さい。
利用者ではなく、ディーラー等別事業者に販売したものについては、記入不要です。(利用者向けに販売された場合は、6-1, 6-2に当該補装具製造・輸入についてご記入の場合も、こちらにご記入下さい)。

(1) 種別番号	(2) 名称	(3) 型番	(10) 実売価格

※ エクセルにて調査票のフォーマットを作成し、添付しておりますので、エクセルファイルに入力したものをメールにてご返信ください。

(別紙)

6. 眼鏡調査票記入上の留意事項

(1) 種別番号について

以下の表中に掲げた種別番号を用いてください。

種別番号	種目	名称	基本構造	基準額(円)	
601	眼鏡	矯正眼鏡	レンズ—プラスチック又はガラス 枠—セルロイド製を原則とする。 (価格はレンズ2枚1組、枠を含む)	6D未満	17,600
602	眼鏡	矯正眼鏡		6D以上 10D未満	20,200
603	眼鏡	矯正眼鏡		10D以上 20D未満	24,000
604	眼鏡	矯正眼鏡		20D以上	24,000
605	眼鏡	遮光眼鏡	主材料は上と同じ。 (価格はレンズ2枚1組、枠を含む)	前掛式	21,500
606	眼鏡	遮光眼鏡		6D未満	30,000
607	眼鏡	遮光眼鏡		6D以上 10D未満	30,000
608	眼鏡	遮光眼鏡		10D以上 20D未満	30,000
609	眼鏡	遮光眼鏡		20D以上	30,000
610	眼鏡	コンタクトレンズ	主材料—プラスチック (価格はレンズ1枚のものであること)	15,400	
611	眼鏡	弱視眼鏡	掛けめがね式	36,700	
612	眼鏡	弱視眼鏡	焦点調整式	17,900	

(2) 名称について

当該眼鏡に呼称をつけている場合に記載してください。

(3) 型番について

当該眼鏡の型番を記載してください。

(4) 販売店への販売単価について

当該眼鏡の基準額や希望小売価格ではなく、販売店への販売価格（出荷時の実際の単価）を記載してください。なお、時により出荷時単価が異なる場合は、記載を2行以上に分けて単価設定ごとにご回答ください。

(5) 対象期間における出荷数量について

当該眼鏡の対象期間における出荷個数を記載してください。

(6) 基本構造以外の構造

当該眼鏡に基本構造以外の構造を備えている場合に記載してください。

※ 実際にどのような構造があるか、補装具検討会にて検討。

(7) 製造原価について

当該眼鏡の製造原価を記載してください。

(8) 輸入原価について

当該眼鏡の輸入原価（仕入れ値、輸入に係るコストを分けて）を記載してください。

(9) 外国平均価格について

当該眼鏡の米、英、仏、独の実売価格（販売店への販売価格ではなく小売り単価）を調査の上、各国の通貨で記載してください。

(10) 実売単価について

当該眼鏡の販売店での実際の小売り単価を記載してください。

7. 座位保持具、起立保持具、頭部保持具、排便補助具調査票

平成19年度（19年4月1日～20年3月31日）の期間におこなわれた、御社からの補装具出荷取引について、下記の表にご記入下さい。（記入方法については別紙をご参照ください。）当該製品のカタログを添付してください。

7-1 座位保持具、起立保持具、頭部保持具、排便補助具の製造について

(1) 種別 番号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販売店への販 売単価(円)	(5) 対象期間における出荷 数量(個)	(6) 基本構造以外の 構造	(7) 製造原価 (単価)(円)

7-2 座位保持具、起立保持具、頭部保持具、排便補助具の輸入について

(1) 種 別 番 号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販売 店へ の販 売単 価 (円)	(5) 対象 期間に おける 出荷 数量 (個)	(6) 基本 構造 以外 の構 造	(8) 輸入原価			(9) 外国における 実売価格				
						仕入 れ値 (円)	輸入 コス ト (円)	輸送費用負担 等契約種別 s) FOB t) CIF u) その他 a~c のいずれ か1つをご記入 下さい。	米 (米 ドル)	英 (ポ ンド)	仏 (ユ ーロ)	独 (ユ ーロ)	

7-3 利用者向け販売について

※対象期間に、利用者向けに座位保持具、起立保持具、頭部保持具、排便補助具を販売された場合は、こちらにご記入下さい。利用者ではなく、ディーラー等別事業者に販売したもののについては、記入不要です。(利用者向けに販売された場合は、7-1, 7-2に当該補装具製造・輸入についてご記入の場合も、こちらにご記入下さい)。

(1) 種別番号	(2) 名称	(3) 型番	(10) 実売価格

※ エクセルにて調査票のフォーマットを作成し、添付しておりますので、エクセルファイルに入力したものをメールにてご返信ください。

(別紙)

7. 座位保持具、起立保持具、頭部保持具、排便補助具調査票記入上の留意事項

(1) 種別番号について

以下の表中に掲げた種別番号を用いてください。

種別番号	種目	名称	基本構造	基準額(円)
701	座位保持具 (児)		機能障害の状況に適合させること。 主材料－木材 アルミニウム 管 外 装－ニス 机上用の盤を取り付ける場合は 5,600 円増し。 座面に軟性の内張を付した場合は 5,000 円増し。	24,300
702	頭部保持具 (児)		座位保持具等に装着して用いるもので、頭部を固定する機能を有するもの。	7,100
703	起立保持具 (児)		機能障害の状況に適合させること。 箱形とすること。 主材料－木材 外 装－ニス	27,400
704	排便補助具 (児)		普通便所で排便が困難な場合に用い、座位排便が容易となるよう機能障害の状況に適合させること。 主材料－木材 外 装－ペンキ塗装	8,200

(2) 名称について

当該製品に呼称をつけている場合に記載してください。

(3) 型番について

当該製品の型番を記載してください。

(4) 販売店への販売単価について

当該製品の基準額や希望小売価格ではなく、販売店への販売価格（出荷時の実際の単価）を記載してください。なお、時により出荷時単価が異なる場合は、記載を2行以上に分けて単価設定ごとにご回答ください。

(5) 対象期間における出荷数量について

当該製品の対象期間における出荷台数を記載してください。

(6) 基本構造以外の構造

当該製品に基本構造以外の構造を備えている場合に記載してください。

※ 実際にどのような構造があるか、補装具検討会にて検討。

(7) 製造原価について

当該製品の製造原価を記載してください。

(8) 輸入原価について

当該製品の輸入原価（仕入れ値、輸入に係るコストを分けて）を記載してください。

(9) 外国平均価格について

当該製品の米、英、仏、独の実売価格（販売店への販売価格ではなく小売り単価）を調査の上、各国の通貨で記載してください。

(10) 実売単価について

当該製品の販売店での実際の小売り単価を記載してください。

8. 歩行器調査票

平成19年度（19年4月1日～20年3月31日）の期間におこなわれた、御社からの補装具出荷取引について、下記の表にご記入下さい。（記入方法については別紙をご参照ください。）当該製品のカタログを添付してください。

8-1 歩行器の製造について

(1) 種別 番号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販売店への販 売単価(円)	(5) 対象期間における出荷 数量(個)	(6) 基本構造以外の 構造	(7) 製造原価 (単価)(円)

8-2 歩行器の輸入について

(1) 種 別 番 号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販売 店へ の販 売単 価 (円)	(5) 対象 期間に おける 出荷 数量 (個)	(6) 基本 構造 以外 の構 造	(8) 輸入原価			(9) 外国における 実売価格				
						仕入 れ値 (円)	輸入 コス ト (円)	輸送費用負担 等契約種別 v) FOB w) CIF x) その他 a~c のいずれ か1つをご記入 下さい。	米 (米 ドル)	英 (ポ ンド)	仏 (ユ ーロ)	独 (ユ ーロ)	

8-3 利用者向け販売について

※対象期間に、利用者向けに歩行器を販売された場合は、こちらにご記入下さい。利用者ではなく、ディーラー等別事業者に販売したのものについては、記入不要です。(利用者向けに販売された場合は、8-1, 8-2に当該補装具製造・輸入についてご記入の場合も、こちらにご記入下さい)。

(1) 種別番号	(2) 名 称	(3) 型 番	(10) 実売価格

※ エクセルにて調査票のフォーマットを作成し、添付しておりますので、エクセルファイルに入力したものをメールにてご返信ください。

(別紙)

8. 歩行器調査票記入上の留意事項

(1) 種別番号について

以下の表中に掲げた種別番号を用いてください。

種別番号	種目	名称	基本構造	基準額 (円)
801	歩行器	六輪型	前二輪、中二輪、後二輪の六輪車とし、前輪を自在車輪とすること。	44,000
802	歩行器	四輪型 (腰掛つき)	前二輪、後二輪の四輪車とし、前輪を自在車輪とすること。	36,000
803	歩行器	四輪型 (腰掛なし)	上と同じ。	31,000
804	歩行器	三輪型	前一輪、後二輪の三輪車とし、前輪を自在車輪とすること。	34,000
805	歩行器	二輪型	前二輪、後固定式の脚を有すること。	27,000
806	歩行器	固定型	四脚を有し、使用時に持ち上げて移動させるもの。	26,000
807	歩行器	交互型	四脚を有し、両二脚を交互に移動させるもの。	30,000

(2) 名称について

当該製品に呼称をつけている場合に記載してください。

(3) 型番について

当該製品の型番を記載してください。

(4) 販売店への販売単価について

当該製品の基準額や希望小売価格ではなく、販売店への販売価格（出荷時の実際の単価）を記載してください。なお、時により出荷時単価が異なる場合は、記載を2行以上に分けて単価設定ごとにご回答ください。

(5) 対象期間における出荷数量について

当該製品の対象期間における出荷台数を記載してください。

(6) 基本構造以外の構造

当該製品に基本構造以外の構造を備えている場合に記載してください。

※ 実際にどのような構造があるか、補装具検討会にて検討。

(7) 製造原価について

当該製品の製造原価を記載してください。

(8) 輸入原価について

当該製品の輸入原価（仕入れ値、輸入に係るコストを分けて）を記載してください。

(9) 外国平均価格について

当該製品の米、英、仏、独の実売価格（販売店への販売価格ではなく小売り単価）を調査の上、各国の通貨で記載してください。

(10) 実売単価について

当該製品の販売店での実際の小売り単価を記載してください。

9. 歩行補助つえ調査票

平成19年度（19年4月1日～20年3月31日）の期間におこなわれた、御社からの補装具出荷取引について、下記の表にご記入下さい。（記入方法については別紙をご参照ください。）当該製品のカタログを添付してください。

9-1 歩行補助つえの製造について

(1) 種別 番号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販売店への販 売単価(円)	(5) 対象期間における出荷 数量(個)	(6) 基本構造以外の 構造	(7) 製造原価 (単価)(円)

9-2 歩行補助つえの輸入について

(1) 種 別 番 号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販 売 店 へ の 販 売 単 価 (円)	(5) 対 象 期 間 に お け る 出 荷 数 量 (個)	(6) 基 本 構 造 以 外 の 構 造	(8) 輸 入 原 価			(9) 外 国 に お け る 実 売 価 格				
						仕 入 れ 値 (円)	輸 入 コ ス ト (円)	輸 送 費 用 負 担 等 契 約 種 別 y) FOB z) CIF aa) その他 a~c のいずれ か1つをご記入 下さい。	米 (米 ド ル)	英 (ポ ン ド)	仏 (ユ ー ロ)	独 (ユ ー ロ)	

9-3 利用者向け販売について

※対象期間に、利用者向けに歩行補助つえを販売された場合は、こちらにご記入下さい。
 利用者ではなく、ディーラー等別事業者に販売したものについては、記入不要です。(利用者向けに販売された場合は、9-1, 9-2に当該補装具製造・輸入についてご記入の場合も、こちらにご記入下さい)。

(1) 種別番号	(2) 名称	(3) 型番	(10) 実売価格

○製造事業者用

(1) 種別 番号	(2) 名称	(3) 型番	(4) 販売店への販 売単価(円)	(5) 対象期間における出荷 数量(個)	(6) 基本構造以外の 構造	(7) 製造原価

○輸入事業者用

(1) 種別 番号	(2) 名称	(3) 型番	(4) 販売店 への販 売単価 (円)	(5) 対象期間に おける出荷 数量(個)	(6) 基本構造以 外の構造	(8) 輸入原価		(9) 外国における 実売価格 (各国通貨)				
						仕入れ 値	輸入コ スト	米	英	仏	独	

○販売事業者用

(1) 種別番号	(2) 名称	(3) 型番	(10) 実売価格

※ エクセルにて調査票のフォーマットを作成し、添付しておりますので、エクセルファイルに入力したものをメールにてご返信ください。

(別紙)

9. 歩行補助つえ調査票記入上の留意事項

(1) 種別番号について

以下の表中に掲げた種別番号を用いてください。

種別番号	種目	名称	基本構造	基準額(円)
901	歩行補助つえ	松葉づえ(木製) A普通型	主体—木材(十分な強度を有するもの) 脇当—スポンジ又はウレタン製の枕 皮革、人工皮革又は布製のカバー	3,300
902	歩行補助つえ	松葉づえ(木製) B伸縮型	外装—ニス塗装 価格は1本当たりのものであること	3,300
903	歩行補助つえ	松葉づえ(軽金属製) A普通型	主体—軽金属 脇当—合成軟質樹脂 握り部分—合成軟質樹脂	4,000
904	歩行補助つえ	松葉づえ(軽金属製) B伸縮型	外装—塗装なし 価格は1本当たりのものであること	5,300
905	歩行補助つえ	カナディアン・クラッチ	主体—アルミニウム、鋼管 上部4段間隔以上、下部9段間隔以上の調節装置を付けるものとする。 腕支持器 —アルミニウム鋳物 およびステンレス鋼板 握り部分 —アルミニウム鋳物およびゴム 外装—塗装なし 価格は1本当たりのものであること	8,000
906	歩行補助つえ	ロフストランド・クラッチ	カナディアン・クラッチに準ずる。 価格は1本当たりのものであること	8,000
907	歩行補助つえ	多点杖	つえの下部に三本以上の脚を有するもの。価格は1本当たりのものであること 主体—軽金属 外装—塗装なし	10,000
908	歩行補助つえ	プラットホーム杖	カナディアン・クラッチに準ずる 価格は1本当たりのものであること	18,000

(2) 名称について

当該製品に呼称をつけている場合に記載してください。

(3) 型番について

当該製品の型番を記載してください。

(4) 販売店への販売単価について

当該製品の基準額や希望小売価格ではなく、販売店への販売価格（出荷時の実際の単価）を記載してください。なお、時により出荷時単価が異なる場合は、記載を2行以上に分けて単価設定ごとにご回答ください。

(5) 対象期間における出荷数量について

当該製品の対象期間における出荷本数を記載してください。

(6) 基本構造以外の構造

当該製品に基本構造以外の構造を備えている場合に記載してください。

※ 実際にどのような構造があるか、補装具検討会にて検討。

(7) 製造原価について

当該製品の製造原価を記載してください。

(8) 輸入原価について

当該製品の輸入原価（仕入れ値、輸入に係るコストを分けて）を記載してください。

(9) 外国平均価格について

当該製品の米、英、仏、独の実売価格（販売店への販売価格ではなく小売り単価）を調査の上、各国の通貨で記載してください。

(10) 実売単価について

当該製品の販売店での実際の小売り単価を記載してください。

10. 重度障害者用意思伝達装置調査票

平成19年度（19年4月1日～20年3月31日）の期間におこなわれた、御社からの補装具出荷取引について、下記の表にご記入下さい。（記入方法については別紙をご参照ください。）当該製品のカタログを添付してください。

10-1 重度障害者用意思伝達装置の製造について

(1) 種別 番号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販売店への販 売単価(円)	(5) 対象期間における出荷 数量(個)	(6) 基本構造以外の 構造	(7) 製造原価 (単価)(円)

10-2 重度障害者用意思伝達装置の輸入について

(1) 種 別 番 号	(2) 名 称	(3) 型 番	(4) 販 売 店 へ の 販 売 単 価 (円)	(5) 対 象 期 間 に お け る 出 荷 数 量 (個)	(6) 基 本 構 造 以 外 の 構 造	(8) 輸 入 原 価			(9) 外 国 に お け る 実 売 価 格				
						仕 入 れ 値 (円)	輸 入 コ ス ト (円)	輸 送 費 用 負 担 等 契 約 種 別 bb) FOB cc) CIF dd) その他 a~c のいずれ か1つをご記入 下さい。	米 (米 ドル)	英 (ポ ンド)	仏 (ユ ーロ)	独 (ユ ーロ)	

10-3 利用者向け販売について

※対象期間に、利用者向けに重度障害者用意思伝達装置を販売された場合は、こちらにご記入下さい。利用者ではなく、ディーラー等別事業者に販売したものについては、記入不要です。(利用者向けに販売された場合は、10-1, 10-2に当該補装具製造・輸入についてご記入の場合も、こちらにご記入下さい)。

(1) 種別番号	(2) 名称	(3) 型番	(10) 実売価格

※ エクセルにて調査票のフォーマットを作成し、添付しておりますので、エクセルファイルに入力したものをメールにてご返信ください。

(別紙)

10. 重度障害者用意思伝達装置調査票記入上の留意事項

(1) 種別番号について

以下の表中に掲げた種別番号を用いてください。

種別番号	種目	名称	基本構造	基準額(円)
1001	重度障害者用意思伝達装置		ソフトウェアが組み込まれた専用機器であること。	450,000

(2) 名称について

当該製品に呼称をつけている場合に記載してください。

(3) 型番について

当該製品の型番を記載してください。

(4) 販売店への販売単価について

当該製品の基準額や希望小売価格ではなく、販売店への販売価格（出荷時の実際の単価）を記載してください。なお、時により出荷時単価が異なる場合は、記載を2行以上に分けて単価設定ごとにご回答ください。

(5) 対象期間における出荷数量について

当該製品の対象期間における出荷台数を記載してください。

(6) 基本構造以外の構造

当該製品に基本構造以外の構造を備えている場合に記載してください。

※ 実際にどのような構造があるか、補装具検討会にて検討。

(7) 製造原価について

当該製品の製造原価を記載してください。

(8) 輸入原価について

当該製品の輸入原価（仕入れ値、輸入に係るコストを分けて）を記載してください。

(9) 外国平均価格について

当該製品の米、英、仏、独の実売価格（販売店への販売価格ではなく小売り単価）を調査の上、各国の通貨で記載してください。

(10) 実売単価について

当該製品の販売店での実際の小売り単価を記載してください。

1 1. 過去3年間の事業所の経常収益（売上げ）調査票

		平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	
営業収益	1. 補装具 用車いす	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
	2. 補装具 用 電 動 車 いす	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
	3. 補装具 用補聴器	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
	4. 盲人安 全つえ	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
	5. 義眼	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
	6. 補装具 用眼鏡	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
	7. 座位保持 いす、起立保 持具、頭部保 持具、排便補 助具	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
	8. 歩行器	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
	9. 歩行補 助つえ	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
	10. 重度 障 害 者 用 意 思 伝 達 装 置	自社製造－利用者向け販売	円	円	円
		自社製造－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
		輸入－利用者向け販売	円	円	円
		輸入－ディーラー等事業者向け販売	円	円	円
補装具の製作・修理事業		円	円	円	
補装具関連部品・材料の販売		円	円	円	
福祉用具の販売		円	円	円	
その他事業 (業種名：)		円	円	円	
営業外収益		円	円	円	
経常収益		円	円	円	

12. 過去3年間の事業所の経常費用調査票

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
本調査調査対象補装具の供給にかかわるもの ※他業種との切り分けができない場合、該当欄に「-」とご記入し、他業種の記入欄にあわせて金額をご記入下さい。				
1. 補装具用車いす	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円
2. 補装具用電動車いす	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円
3. 補装具用補聴器	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円
4. 盲人安全つえ	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円
5. 義眼	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円
6. 補装具用眼鏡	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円
7. 座位保持いす、起立保持具、 頭部保持具、排便補助具	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円
8. 歩行器	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円
9. 歩行補助つえ	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円
10. 重度障害者用意思伝達装置	自社製造品の製造原価	円	円	円
	輸入品の輸入原価	円	円	円
	販売費	円	円	円
	一般管理費	円	円	円

※ いずれも補装具としての給付対象品について記載してください。例えばスポーツ用車いすやスポーツ用電動車いす等は対象外。

(次ページにつづく)

(12 つづき)

上記補装具以外の主要事業での費用			
製造原価	円	円	円
販売費	円	円	円
一般管理費	円	円	円
※ここまで営業費用対象費目			
営業外費用	円	円	円
経常費用※前ページから本ページにかけて、上記費用 金額の合計と一致することをご確認ください	円	円	円

※ エクセルにて調査票のフォーマットを作成し、添付しておりますので、エクセルファイルに入力したものをメールにてご返信いただけると幸いです。

回答者様について

※ご回答いただいた内容について、質問させていただくことがあります。その際のご連絡先をご記入下さい。

回答事業者様社名	
回答担当者様氏名	
回答者様ご連絡先（電話及び E-mail アドレス）	

長時間にわたる回答にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。